

地域医療連携だより

えん

発行日：令和6年8月 発行所：富山赤十字病院 富山市牛島本町2丁目1番58 TEL. 433-2492 発行責任者：時光 善温

尿路結石症の手術

泌尿器科部長 長坂 康弘



尿路結石症に対する手術は、体外衝撃波結石破砕術(ESWL)、経尿道的碎石術(TUL)、経皮的腎碎石術(PNL)があり、それぞれの手術の特色を生かし最適の手術を選択しています。それぞれの手術について、どのように使い分けているか説明します。

①体外衝撃波結石破砕術(ESWL、図1)

体表面に密着した器械から衝撃波を一点(結石)に集中させ破砕する治療です。腎・尿管いずれの部位にも衝撃波を当てることはできませんが、中部・下部尿管の結石は腸骨や仙骨、腸管のガスによって衝撃波が減衰するため苦手です。また、10mmを超える結石は一般的に硬い結石が多いため複数回の治療を要することが多く、場合によっては何回当てても破砕できないことがあります。とはいえ、10mm以下の上部尿管の結石では1-2回の治療で95%以上の破砕成功率を誇っており、麻酔不要、かつ外来で手術が行えることは他の手術と比べても大きなメリットと言えます。

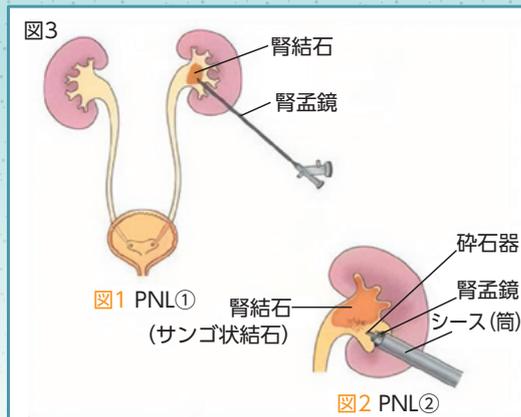
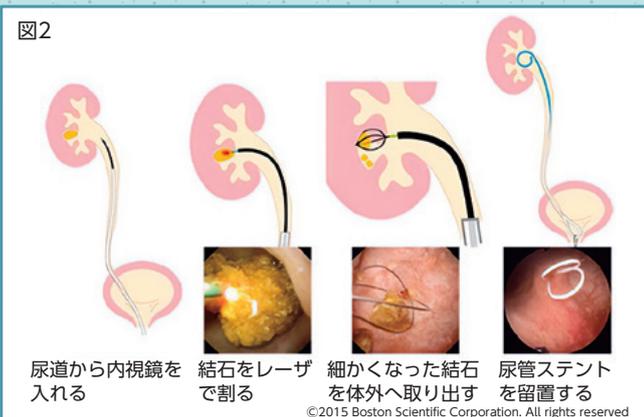
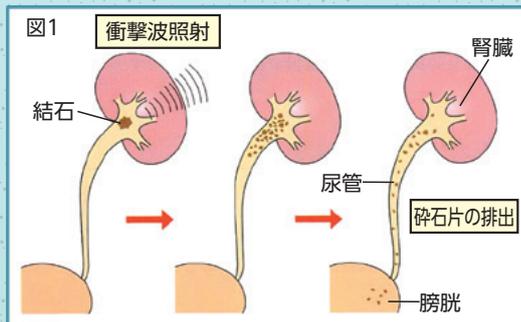
②経尿道的碎石術(TUL、図2)

尿道から硬性あるいは軟性尿管鏡を尿道→尿管→腎内に挿入し、レーザーで結石を破砕、さらには破砕片の除去も行います。尿道からのアプローチのため、ESWLが苦手とする中部・下部尿管の結石はより尿道に近い得意としています。最近ではシースなどの周辺器具の改良により、尿道から遠い上部尿管や腎結石に対しても容易に行えるようになりました。ただ、細い尿管に挿入するだけあってシースは細く、結石を摘出する効率は悪く、20mmを超える大きな腎結石には向いていません。よって、10~20mmの腎または尿管結石がもっとも良い適応です。

③経皮的腎碎石術(PNL、図3)

20mmを超える大きな腎結石に行う手術で、腎瘻を造設しそこから内視鏡を挿入し結石の破砕、摘出を行います。以前は小指くらいの太い内視鏡で手術を行い、破砕片を鉗子でつまんで摘出していたため、どうしても細かい砂が残ってしまいました。最近では吸引可能な画期的なシースが開発されたことにより、従来の半分以下の細径の内視鏡でより効率的な手術が可能になり、これまでは残ってしまっていた細かい砂も吸引により除去できるようになりました。例えるならば、従来の手術がトンゴを使ってゴミを拾っていたとすると、現在は掃除機

でホコリまで取り除けます。また、さらに効率を上げるために、PNLとTULを同時に行う最新手術(ECIRS)も行っています。



©2015 Boston Scientific Corporation. All rights reserved.

第87回地域医療連携の会

令和6年7月1日(月)午後7時よりホテルグランテラス富山において「第87回 地域医療連携の会」を開催いたしました。開業医の先生方61名、当院医師・看護師等64名、総勢125名の参加がありました。富山県厚生部 有賀部長、富山県医師会 村上会長、富山市医師会 舟坂会長より来賓のご挨拶を賜り、国立大学法人富山大学 学術研究部医学系(医学) 麻酔科学講座 高澤知規教授をお迎えし、「富山大学附属病院痛みセンターの活動」と題してご講演をいただきました。引き続き行われた懇親会では、岡田副院長、芝原副院長より当院の現状と便秘外来のご紹介をさせていただきました。また、当院医師とコメディカルで構成された豊赤バンド2名の演奏が披露されました。地域の先生方との楽しいひと時を過ごさせて頂き、地域医療連携の輪もより一層広がったように思います。今後とも地域の先生方との連携を図り、地域医療の推進に努めていきたいと思っております。

来賓挨拶



富山県厚生部 部長
有賀玲子先生



富山県医師会 会長
村上美也子先生



富山市医師会 会長
舟坂雅春先生



よしだ医院 院長
吉田誠先生

懇親会 乾杯挨拶



トランペット：橋本（当院整形外科医師）
ピアノ：藤井（当院検査技師）



おいしい食事に会話も弾み、和やかな雰囲気になりました



富山赤十字病院
院長
平岩善雄



富山赤十字病院
副院長兼第1消化器内科部長兼皮膚科部長
岡田和彦



富山赤十字病院
副院長兼第1外科部長兼歯科口腔外科部長
芝原一繁



座長 富山赤十字病院
患者支援センター長
時光善温

富山大学附属病院痛みセンターの活動

令和6年7月1日開催された富山赤十字病院 第87回地域医療連携の会において、国立大学法人富山大学 学術研究部医学系(医学)麻酔科学講座 教授 高澤知規先生による講演「富山大学附属病院痛みセンターの活動」が行われました。

富山大学 学術研究部医学系(医学) 麻酔科学講座 教授 高澤 知規 先生



痛みセンターの役割は、慢性疼痛患者の治療とケアの向上にあります。富山大学附属病院痛みセンターは、地域の医療機関と連携し、慢性疼痛患者のQOL改善を目指しています。

痛みは侵害受容性疼痛、神経障害性疼痛、および痛覚変調性疼痛の3つに分類され、それぞれ異なる治療アプローチが必要です。痛みセンターでは、患者一人ひとりの症状に合わせた包括的な治療計画を立てています。

次に、痛みセンターで提供する具体的な治療法について紹介します。薬物療法、運動療法、心理療法を組み合わせ、個別化された治療を行っています。特に痛覚変調性疼痛には非薬物療法が有効であり、患者教育や認知行動療法を重視しています。

さらに、インターベンショナル治療の実施状況についても触れます。神経ブロックや脊髄刺激療法など、侵襲的な治療法も取り入れ、効果的な痛み管理を目指しています。これらの治療は、患者の痛み軽減だけでなく、生活の質の向上にも寄与しています。

最後に、地域医療との連携の重要性について強調します。地域の医療機関と協力し、患者の治療情報を共有することで、継続的かつ包括的なケアを提供することが可能になります。今後も地域との連携を強化し、慢性疼痛患者の治療環境を改善していく所存です。



先生方の願いがこもった短冊も飾り付けました



9月はがん征圧月間、 10月は乳がん早期発見強化月間です

がん相談支援センター 小川 恵梨

今年もがん相談支援センターでは、2階やすらぎホールにおいて9月はがん征圧、10月は乳がん早期発見強化月間の啓発事業を開催いたします。がん征圧月間では、「がん検診 あなたの暮らしの習慣に」(公益財団法人日本対がん協会2024年度がん征圧スローガン)のスローガンのもとがん予防やがん検診の情報を発信し、がんに対する理解を深めて頂けるようにします。10月の乳がん早期発見月間では、乳がんの早期発見、早期治療についてポスター掲示を行います。10月16日(水)のやすらぎの会では、当院外科 渡邊医師のミニレクチャーを行う予定です。ぜひ、お立ち寄りください。



昨年のがん征圧月間と乳がん早期発見強化月間の様子

がん征圧月間ポスター掲示
9月2日～20日

乳がん早期発見強化月間
ポスター掲示
10月1日～25日

やすらぎの会・クロスサロンとやまのお知らせ



開催日	テーマ	時間・場所
10月16日(水)	やすらぎの会 「乳がんについて学ぼう」 「アピアランスケア」	14:00～15:00 1階多目的室
11月20日(水)	やすらぎの会 「がんと食事について学ぼう」 クロスサロンとやま	13:30～15:30 1階多目的室
12月18日(水)	やすらぎの会 「がんリハビリテーションについて学ぼう」	14:00～15:00 1階多目的室
1月15日(水)	クロスサロンとやま	13:30～15:30 1階多目的室
2月19日(水)	やすらぎの会 「がん治療とお薬を学ぼう」	14:00～15:00 1階多目的室
3月19日(水)	やすらぎの会 「がん治療と口腔ケアを学ぼう」	14:00～15:00 1階多目的室

お問い合わせ:がん相談支援センター ☎076-433-2222(代)

肝炎デー 2024

肝臓内科部長兼神経内科部長兼患者支援センター長 時光 善温



2024年の「肝臓週間」は7月22日から7月28日でした。7月28日はWHOが定めた「World Hepatitis Day (世界肝炎デー)」であり厚生労働省が定めた「日本肝炎デー」です。当院でもこれに合わせて肝炎デーのイベントを毎年行ってきました。患者さんやご家族を対象にした「やすらぎの会」でミニレクチャー『肝がんについて学ぼう』を開催し、2回開催した肝臓病教室にも多くの来院者に聴講いただきました。また期間を通してポスター展示を行い肝炎について啓発いたしました。さらに医療者講習会を開催し富山大学田尻准教授、富山県厚生部小村先生より私たち職員に『ウイルス肝炎の撲滅を目指して』をご講義いただきました。WHOが2030年までの肝炎撲滅を目標に掲げる中、まずは自らの患者さんにあらためて目を向けることが第一歩です。当院でも拾い上げ活動、啓発活動を強化し継続いたします。HBs抗原陽性、HCV抗体陽性の患者さんについては全てご紹介いただいても結構です。



慰霊祭

総務課 中山 佳津子

富山大空襲から79年。今年も好天の中、8月1日に病院前庭慰霊碑前にて戦没者追悼慰霊祭が執り行われました。この慰霊祭は富山大空襲の日にあわせ、犠牲者の冥福を願い毎年行っております。

1945年8月2日午前0時36分、富山市はB29戦闘機174機の50万発以上の焼夷爆弾攻撃を受け、市街地の99.5%が焦土と化しました。約2万5千世帯、11万人の市民が罹災、3千人の尊い命が奪われ、地方都市としては人口比で最も多い犠牲者を出したと言われております。当院も病院・学校・支部施設が全焼し、多くの職員、入院患者、生徒が犠牲となりました。慰霊碑には、富山大空襲で犠牲となった職員、日中戦争以後に戦死・病死された医療関係者の名前が刻まれています。

当日は、多くの職員が参列し順に手を合わせ、犠牲者を悼み、平和への思いを新たにしておりました。



9月、10月の外来診療に関する医師不在日案内

9月

科名	医師名	不在日
歯科口腔外科	石戸 克尚	27日(金)
皮膚科	中尾 将治	19日(木) 20日(金)
	丸山真里菜	4日(水) 5日(木) 6日(金) 9日(月)
小児科	足立 雄一	20日(金)PM
	津幡 眞一	19日(木)
	平井 宏子	9日(月)PM 25日(水) 27日(金)
耳鼻科	大井祐太郎	27日(金)
整形外科	橋本 浩	27日(金)
内科	川原 順子	6日(金)
	賀来 文治	11日(水)PM 12日(木)PM
	勝田 省嗣	17日(火)
	日比野真也	20日(金)
	松本 正大	24日(火)
	湊山 周平	13日(金)
	渡邊かすみ	26日(木)
	飯田 将貴	4日(水)
泌尿器科	長坂 康弘	24日(火) 25日(水)
	外島 和樹	17日(火) 18日(水) 30日(月)

※不在日には、代診を立てております。

10月

科名	医師名	不在日
眼科	辻屋 壮介	28日(月)
皮膚科	中尾 将治	17日(木) 18日(金) 24日(木) 25日(金) 28日(月)
	丸山真里菜	3日(木) 4日(金) 7日(月)
脳神経外科	桑山 直也	4日(金) 16日(水) 18日(金)
	津村貢太郎	24日(木)
小児科	足立 雄一	11日(金)PM
	津幡 眞一	3日(木) 23日(水)
耳鼻いんこう科	十二町美樹	10日(木) 11日(金) 15日(火) 17日(木) 18日(金)
内科	川根 隆志	25日(金)
	黒川 敏郎	17日(木)
	勝田 省嗣	15日(火) 16日(水) 17日(木) 18日(金)
	川島 隼人	10日(木)
	飯田 将貴	11日(金)
	宮 有佑	18日(金)
	高令診療科	殿谷 康博
泌尿器科	外島 和樹	3日(木) 4日(金) 24日(木) 25日(金) 28日(月) 29日(火)
産婦人科	桑間 直志	1日(火)AM 25日(金)PM

新任医師の紹介



総合内科部医師 **佐藤 淳司**

どうぞよろしくお願いたします。

編集後記

夕暮れ時の虫の音に、秋の気配を感じられるようになりました。
昨年4月より富山赤十字病院 患者支援センターの事務補助として勤務している大西です。

私には91歳になった姑がいますが、要支援になることもなく、元気に町内の老人会で活躍しているので、今まで介護について考えたことがありませんでした。

センターに来て初めて患者さんとそのご家族の大変さを知りました。そのようなご家族に寄り添い、入院前から退院後の生活をふまえて支援しているスタッフのパフォーマンスがあがるよう縁の下の力持ちとして精進していきたいと思っております。

(患者支援センター 事務 大西友代)



紹介依頼など、下記までお問い合わせください。

富山赤十字病院
患者支援センター

TEL : 076-433-2492 FAX : 076-433-2493

e-mail : byousinrenkei@toyama-med.jrc.or.jp

夜間・休日のお問い合わせは…TEL : 076-433-2222(代表)

Fax : 076-433-2410(夜間・休日のみ)